

## 学校再開について ~学校長より~

いよいよ学校が再開しました。今度こそ、本当の意味で令和2年度のスタートです。みなさん、今日まで本当によく我慢しましたね。今までに経験したことのない非常事態。当たり前であったことが当たり前でなくなった日々。いろいろと考えさせられることの多い毎日であったと思います。思い悩むこともたくさんあったと思います。孤独感、不安感、もって行き場のないストレス、外との関りが減ってしまった生活の中で起こるトラブル。本来楽しいはずのことが楽しめない……。そんな中、よく耐えて今日を迎えましたね。

待ちに待った学校生活のスタートです。徐々に本来の生活を取り戻していきましょう。学校に来ることの喜び、友達や先生と関わることの楽しさ、学習することの必要性、学校生活の意義や当たり前の生活のすばらしさなど、再発見することがたくさんあると思います。その再発見をぜひ楽しんで、自分の生きる力とすることが大切です。

一步一步、着実に学校生活に体や心を慣らしていきましょう。心の中に抱え込んでいることがあったら、先生に相談すること。学校が始まったからといって急に激しい運動(活動)はいけませんよ、身体がついていかないかもしれません。とにかく、規則正しい生活を徐々に取り戻して、心と体を安定させていくことです。

学校再開に当たり、皆さんにお願いしたいことがあります。

1つ目は、「学校における感染リスクをゼロにするということは、現状において難しい」ということを理解して欲しいのです。だからこそ、感染リスクを自ら判断し、感染を回避する行動をとってください。マスクや手洗いを徹底し、「3つの密」と言われる状況をできるだけ回避する。飛沫感染を防ぐように、人との距離や会話等に注意するなど、休業中に得た知識をぜひ活用して、この難局をみんなで乗り越えていきましょう。

2つ目は、誰でもこのウイルスに感染する可能性があるという前提のもと、「今すでに自分は感染しているかもしれない。人に感染させてしまうかもしれない。」という意識で人と関わって欲しいということです。また、どんなに意識して行動していたとしても感染してしまうというのが、この新型コロナウイルスの恐ろしさでもあります。そこで、みんなには感染した人への偏見や差別行為を絶対にしないということを心に誓って欲しいのです。「感染した人がいけないんですか？」みんなも、ニュースで医療従事者やエッセンシャルワーカーの方々とその家族に対する偏見や差別を耳にして憤りを感じたのではないかと思います。今、人と人との思いやりが問われているのです。

人間は、基本的に人とのつながりを求めて生きている生き物です。そのつながりを壊そうとしているのが、この新型コロナウイルスなのです。だからこそ、一人ひとりのつながろうとする気持ちを、新しい生活様式の中で、より強固にしていくことが大切なのです。これからの学校生活、ぜひ、みんなで楽しんでいきましょう。そして、人と人との強いつながりの大切さを荻野中学校から発信していきましょう。

【学校長】



## 6月1日より分散登校による学校が再開しました

緊急事態宣言が発令され、学校の休業が続いておりましたが、6月1日(月)より分散登校により、学校が再開しました。クラスをAグループ、Bグループの2つに分け、1日ずつ交代で登校する分散登校を22日(月)まで行う予定です。分散登校中は、午前日課で下校となります。各学年とも初日の1時間目は学活の中で、自己紹介などを行っていました。その後は、20分の教科の授業も行われました。

### ◆1学年の様子◆

#### 「生活リズムを整えよう」

学校が再開されるにあたり、大事にしたいことは「生活リズムを整える」ことです。登校日のその翌日は自宅学習となる隔日登校になります。学校へ行かない自宅学習の日は、起きる時間を遅くしてしまうと、元に戻るのが大変になります。また、午前中の登校です。帰宅後には、できるだけ昼寝をしないように意識したいものです。昼寝をしてしまうと、夜に寝る時間が遅くなってしまいます。それが生活リズムを崩すことにつながります。生活リズムを整えることは、子どものさまざまな活動の質を良いものにしていく上で、とても重要なことです。今後、特に秋から冬にかけて感染症の再流行があるのではという懸念があります。今回の新型コロナウイルスへの対応は長期戦であることを意識して、少しだけ落ち着きつつある今の時期に、先を見通して、できることは何なのかということを考えておくことは大切なことだと思います。希望をもって学校生活を送りましょう。

【1学年主任】



### ◆3学年の様子◆

長い休校が明け、6月1日から学校が再開し、分散登校という新たな形でスタートしました。久しぶりに会った3年生のみなさんは身長が伸び、がっちりとした体に成長していました。みなさんは、最高学年としてこれまでの経験を生かして、下級生を引っ張り、学校を創っていく気持ちで3年生を迎えたと思いますが、新型コロナウイルス感染予防のために生活様式が変わりました。授業が終わったら、毎回手洗いをするようになりました。最初は一遍に、手洗い場に集まり密になってしまいましたが、みなさんの対応能力が素晴らしく、クラスごとに時間差をつけて密にならない行動をすぐにとることができました。

これからいろいろな活動が始まりますが、皆さんと一緒に考えながら、新たな時代の学校を創っていきましょう。

【3学年主任】



### ◆2学年の様子◆

#### 「笑顔と元気」

2年生は校舎3.4階に教室があります。久しぶりに階段を上るのは少し辛いかなと心配していましたが、どの生徒も元気いっぱい笑顔で挨拶ができます。生徒たちの笑顔と元気が学校をまぶしくよみがえらせてくれたように感じます。

生徒たちは「久しぶりに友達に会えてうれしい!」「新型コロナウイルスのことが心配です。」等、喜びや不安をそれぞれに抱いていました。状況の変化を感じ取りながら多くのことを考え、懸命に頑張っていたようです。学活の授業では、3つの密を避けながら、クイズ形式の自己紹介や絵しりとりなどのゲームを楽しみました。楽しい時間を通して学年全体に笑顔や笑い声が増えてきたように感じます。久しぶりの授業も楽しみだったようで、生徒の真剣な眼差しが私達を勇気づけてくれています。

【2学年主任】



## 5/26~28 個別面談を行いました

5月26日(火)~28日(木)の3日間、一人あたり10分程度の担任との個別面談を教室で行いました。一人ひとりが、それぞれ決められた時間に登校してきました。久しぶりの学校登校。そして、久しぶりに教室へ入り、担任の先生との面談に緊張した面持ちも見られました。休業中の過ごし方や、学習面について、学校生活以外で心配なこと、気になること、そして学校再開にあたり分散登校の説明がありました。新型コロナウイルスの関係で、生活に不安を抱えていないかなど、心のケアも含めて担任の先生と面談を行いました。

